

# オウム対策住民協議会ニュース

オウム真理教への監視を強めるため

## 観察処分期間更新を求める 署名・募金にご協力ください

―世田谷から全国へのご協力をお願い―

平成18年1月、2度目の観察処分期間満了の時期が来ます。

前回平成14年5月に初めての観察処分期間更新のための署名活動を行って、約5万人の署名を公安調査庁及び公安審査委員会へ提出しました。その結果3年の観察処分期間更新が認められてまもなく3年が経ちます。

教団分派での修業による傷害致死事件、職業安定法違反事件、そして未だに行われている布教活動など、オウム教団による世間を騒がせる行為は後をたちません。八潮市では今年でも年3回のセミナーが行われています。ゴールデンウィーク、お盆、年末年始と集まる人数は以前と比べると少なくなり、毎回50人に満たないとはいえ、まだまだ烏山地

域の私たちの見えない所で布教活動は行われているのです。

烏山施設ではセミナーは行われていない。それは地域住民による監視活動が行われているからだと確信します。しかし、烏山施設から逮捕者が出たり、オウム教団による事件が後を絶たないこと、公安調査庁による立入り調査が行われるということは私たちの地域が依然として危険な状態であるという事の表れです。

オウム教団が観察処分の取り消しを求めた訴訟ではそれが認められず、却下されたことでもわかるように、国としてもまだまだ危険な集団であると認識しているのです。

麻原が死刑になれば、すべて終わると、裁判決着を心待ちにしている人がいるとしたら、それは誤った考えかもしれ

烏山地域オウム  
真理教(現アレフ)  
対策住民協議会

ません。麻原がいなくなる  
と、オウム教団は何をする  
かわからない。逆により  
危険な行動に出るかもしれ  
ません。どこまで続くか  
わからない、オウム教団解

散・解体運動ですが、私たちは手を緩めることなく、心を引き締めて、安全で安心な生活を取り戻すため、活動を続けていきます。

そのひとつの運動である、2度目の観察処分期間更新の署名活動です。この署名は世田谷区民だけでなく全国にお願いしているものです。多くの皆様のご協力をお願いいたします。とともに、活動資金への募金もお願いいたします。町会や自治会で回覧がまわって来たら、街で署名活動



に出合ったら、よろしくご協力下さい。  
地域での安全な生活は自分たちの手で  
守りましょう！

署名用紙は烏山総合支所内  
住民協議会事務局へお問合せください。  
TEL 03-3326-6134

## 平成17年度対策住民協議会総会を開催

当面は観察処分更新の署名・募金に全力投球

平成17年度烏山地域オウム真理教(現アレフ)対策住民協議会総会が、6月15日夜、烏山総合支所で開かれました。総会には世田谷区の平谷助役、室星危機管理室長も出席、住民協議会を含めて、昨年を約30人上回る72人が出席、熱心に討議しました。倉本会長は冒頭の挨拶で「地下鉄サリン事件から10年、住民協議会の活動も早5年が経過した。この間、観察処分も更新させた。今は署名活動を展開中である。この間の区の支援も心強い限りだ。オウム解散までみんなで一層の努力を続けよう」と呼びかけました。引き続き平谷助役は「協議会はいま観察処分の期間更新を求める署名活動を精力的に進めている。みなさんのねばり強い活動に敬意を表したい。区も一日も早いオウムの解散に向けて、国や都に働きかけていきたい」と挨拶しました。

区版2回を含めて年10回発行する、抗議デモ・学習会を年2回実施する、各種イベントに併せた募金活動、観察処分の更新を求めた署名活動、他自治体の住民協議会及び他団体との情報交換、連携などを決定しました。

議事のその他では、5月23日の学習会後に行われたアンケートの内容が詳細に報告されました。回収枚数が97枚にも及んだこと、抗議デモ・学習会への初めての参加者が21人いたこと、駒沢、宮坂、上馬、遠くは町田市からの参加者もいたこと、滝本弁護士の話がとて勉強になりました、オウムに対する恐怖心を更に深めた、オウム問題の難しさを再認識させられた、学習会を続けることの必要性を改めて認識させられた、など、アンケートの回答内容が詳細に紹介されました。

また、当面の重要課題である「観察処分期間更新」の署名・募金活動について、既に計画されている地域の諸行事の日程、それへの具体的な参加者、実施方法などについて、積極的かつ詳細に検討され「無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律」に基づく公安調査庁の「観察処分」の期間更新を求める署名活動成功に向けて全力投球することを誓いあつて閉会しました。

議事に入り、16年度事業報告では、協議会ニュースを年10回発行、専門家をお呼びした2回の抗議デモと学習会、地域の諸々の行事の中で繰り広げられた署名・募金活動が報告され、決算報告、同監査報告とともに承認されました。

平成17年度事業計画では、監視活動(監視小屋)の継続、協議会ニュースを全

## 観察処分期間更新の署名・募金活動 反響の大きさに一同感激!!

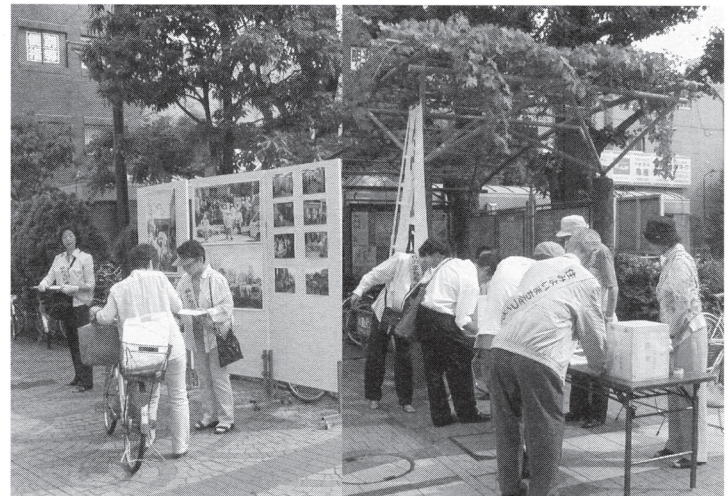
6月19日(日)午後2時より、烏山区民センター前の街頭にて、観察処分期間更新の署名・募金活動が行われた。観察処分期間更新の街頭での署名活動は、今年をはじめと言う事もあり、参加人数も多かった。滋賀県湖南市平松区環境整備オウム対策委員会から借用した、地下鉄サリン事件当時の写真も、パネル3枚に貼りだされた。

口々に叫ぶ、「オウム真理教の解散・解体のための観察処分期間更新の署名・募金にご協力ください。」の声に、快く署名に協力してくれる人。パネルに貼られた写真を見ながら10年前の事件を想い浮かべて、改めてオウム真理教の恐ろしさを実感する人。なかには署名・募金をした後に「近所や、知り合いにも頼んでみるので」といって署名用紙を何枚か持ち帰る人もいた。

これまでにはない反応に、参加者一同は協議会の活動

の正しさと継続する大切さを身をもって体験した。

当日集まった署名は285名、募金は14,845円でした。ありがとうございました。



## オウム最高幹部ら7人に逮捕状 信徒、違法労働派遣の疑い

オウム真理教(アーレフに改称)幹部らによる職業安定法違反(労働者供給事業の禁止)事件で、警視庁は6月16日、現在の集団指導体制下で「正悟師」という最高幹部の1人、杉浦茂容疑者(46)ら幹部3人を同法違反容疑で逮捕した。

新たに逮捕されたのは杉浦容疑者のほか坂口剛容疑者(49)ら2人。再逮捕されたのは先月、同容疑で逮捕された5人のうち、ソフト開発事業の中心だったとみられる

元教団幹部秋山登容疑者(32)ら4人。

調べでは、杉浦容疑者ら3人は、2005年1月までの2年半の間に、雇用関係を結ばずに無許可で、9人の教団信徒を横浜市内などの民間企業8社に派遣した疑い。

上祐史浩が代表の座を退いてから、集団指導体制に移行したが、杉浦茂はその中の一人であり、烏山地域の教団施設に居住している。私達が住む街にこのような人物がいることに協議会は一層の警戒を強めている。

## 湖南市平松区・第17回オウム信者追放抗議集会!!

6月5日午前10時、オウム信者追放抗議集会が始まりました。数えて第17回目です。委員長の釣田氏が壇上にあがり、静かに語りだしました。山道で数人のオウム信者に取り囲まれた時のことでした。

「釣田さんですね。」確認するように話しかけてくる信者。「殺られるかも知れない!」周りには誰も居ませんでした。睨みつけてきます。睨み返さなければ殺られる。それは恐ろしい、二言、三言の短い会話が永遠の時のように長く感じられたのです……

このように、彼等が住んでいる限り恐怖と不安が続く、

この平松区の現状を訴え、観察処分の延長とオウム真理教を解散させる新法の制定を訴えました。

次いで湖南市長が行政の立場から最大の支援をすると発言されました。また、自民、民主各々の衆議院議員が超党派による国会議員団を結成して新法の立ち上げに努力している旨の話がありました。

そして参加者一同350名は長い鎖を手にして約1.3キロの道をヘルカ(オウム施設)までシュプレヒコールをしながら行進しました。

(滋賀県湖南市平松区環境整備オウム対策委員会)

## 住民協議会活動報告

7月4日(月) 協議会ニュース48号初校正  
7月6日(水) 事務局会議  
7月9日(土) 署名・募金活動  
上北沢区民センター開館記念まつり

7月10日(日) 署名・募金活動  
烏山区民センター前  
7月11日(月) 協議会ニュース48号再校正  
7月18日(月) 協議会ニュース48号発行

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。